

令和元年度第2回契約監視委員会議事概要

- 1.日 時 令和元年6月14日(金) 15:25~17:40
- 2.場 所 経済産業省別館10F 産総研東京本部会議室
- 3.出席者 青山委員長、秋山委員、川崎委員、風間委員、渡邊委員

4.議 題

(1) 一般競争入札等の競争性の確保に関する点検

- ① 特例随意契約
- ② 一者応札・応募となった案件【物品等購入】
- ③ 一者応札・応募となった案件【物品等購入以外】
- ④ 企画競争案件

5.議事概要

(1) 一般競争入札等の競争性の確保に関する点検

① 特例随意契約

・資料1「点検案件の整理表」に基づく点検案件の抽出方法についての上承を得た後、資料2「特例随意契約一覧及び個票」に基づき、抽出10案件に対する点検を行った。
なお、委員からの意見・指摘(要旨)は以下のとおり。

○No.2「弾性率・ポアソン比測定装置」について、装置本体の調達にも関わらず、仕様として測定部と制御パソコンの二つに分けた意図が理解し難い。制御パソコンは汎用品ではないのか。制御パソコンに付属するソフトウェアについては、どのような仕様で誰が設計したものになるのか。以上を確認したうえで、回答いただきたい。

[後日に報告する旨を回答]

○No.7「ゲーム性を持たせた口腔体操ソフトウェアの作成」について、契約金額の内訳にデザイン費用が含まれているが、仕様としてデザインが決定していなかったのであれば、検収をどのように行ったのか疑義が残る。このような案件は企画競争とすることが適当ではなかったか。

○No.9「次世代シーケンス解析」について、本案件だけ特別に大幅な値引きがあった訳ではないということだが、そもそもの料金体系が適正なのか疑義が残る。業者に確認して、予定価格の積算に疑義が生じないよう工夫してほしい。

○一者（応札）となった案件が多いように見受けられる。新たな参加事業者を増やす取り組みや工夫が必要ではないか。

事務局より、調達等合理化計画における一者応札・応募の低減に向けた取り組みを徹底する旨を回答した。

② 一者応札・応募となった案件【物品等購入】

・資料1「点検案件の整理表」に基づく点検案件の抽出方法についての上承を得た後、資料3「一者応札・応募となった案件一覧及び個票」に基づき、抽出14案件に対する点検を行った。なお、委員からの意見（要旨）は以下のとおり。

○事前調査段階では仕様を満たしていると判断された事業者が、自社都合で参加を辞退したために一者応札となった案件が複数件見受けられる。一者応札を減らしていくためには、自社都合で参加を辞退した事業者に対して、辞退理由の聞き取りを可能な範囲で実施し、今後の手続きの参考にすることが有用であると思われる。

③ 一者応札・応募となった案件【物品等購入以外】

・資料1「点検案件の整理表」に基づく点検案件の抽出方法についての上承を得た後、資料4「一者応札・応募となった案件一覧及び個票」に基づき、抽出7案件に対する点検を行った。なお、委員からの特段の意見はなかった。

④ 企画競争案件

・資料1「点検案件の整理表」に基づく点検案件の抽出方法についての上承を得た後、資料5「一者応札・応募となった案件一覧及び個票」に基づき、抽出2案件に対する点検を行った。なお、委員からの特段の意見はなかった。

以上